



Ⅱ 目標値の達成状況について



II 目標値の達成状況について

1 第3期計画の目標達成状況

第3期計画において設定した目標値については、以下の5区分で評価を行いました。

43項目のうち、目標達成した項目は14項目(32.7%)、ほぼ変化なしの項目は5項目(11.6%)、悪化傾向の項目は17項目(39.5%)と、悪化傾向の割合が高くなっています。

基本方向別にみると、「食習慣と健康」では3歳児、12歳児の『むし歯の保有数が減る』『自分の食事の適量をわかる人を増やす』『水・お茶以外の甘い飲み物を毎日飲む人の割合を減らす』の項目で目標を達成し、「地産地消」では『学校給食での地場産物の活用を増やす』の項目で目標を達成しています。

小学生、中学生では『毎日朝ごはんを食べる子の割合を増やす』の項目で減少、『肥満の子の割合を減らす』の項目で増加、壮年期では『メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合を減らす』の項目で悪化傾向となっています。

「食文化の継承」では小学生の『朝食を子どもたちだけで食べる割合を減らす』の項目、「地産地消」では『児童・生徒と産業従事者との体験学習を通じた交流を図る学校数を増やす』や『食に関するPTA活動を増やす』の項目は悪化傾向となっています。

【達成状況の区分】

区分	達成状況	項目数	割合
◎	目標達成	14	32.7%
○	改善 (平成29年現況値と目標値の差の6割以上の改善)	1	2.3%
↑	改善傾向 (平成29年現況値と目標値の差の3割以上6割未満の改善)	1	2.3%
→	ほぼ変化なし(↑と↓の間の値)	5	11.6%
↓	悪化傾向 (平成29年現況値と目標値の差の3割以上の悪化)	17	39.5%
—	(評価不能)	5	11.6%
全体		43	100.0%

(1) 基本方向別の目標達成状況

①食習慣と健康

行動指針	指標	第3期計画実績 平成29年		第3期 目標値	現状値 令和4年	達成 状況	出典データ 等
乳児期・幼児期							
正しい食リズム を身につけよう	3食食べる子の割合を増やす	(3歳)	97.7%	98.6%	97.4%	↓	R4 3歳児 健康診査結果 (健康推進課)
	適正体重の子の割合を増やす	(3歳)	89.6%	95.0%	92.3%	↑	
おやつを選び方 を考えよう	甘い飲み物を毎日飲む子を減らす	(3歳)	38.5%	36.5%	36.8%	○	
	むし歯の保有数が減る(3歳)	(3歳)	0.96本	0.50本	0.50本	◎	
野菜を食べよう	野菜を食べない子の割合を減らす	(3歳)	28.8%	18.0%	31.2%	→	
学童期・思春期							
成長に見合った 食事をしよう	肥満の子の割合を減らす	小5(男)	20.8%	17.0%	23.4%	↓	R4 小中学校 肥満度調査 (学校教育課)
		小5(女)	13.8%	12.0%	15.5%	↓	
		中2(男)	14.3%	12.0%	19.0%	↓	
		中2(女)	12.9%	12.0%	13.2%	↓	
朝ごはんを食べ よう	毎日朝ごはんを食べる子の 割合を増やす	小5	90.9%	94.0%	84.6%	↓	R4 石巻市小 中学生食育ア ンケート調査
		中2	83.9%	87.0%	76.1%	↓	
むし歯を減らそ う	むし歯の保有数が減る(12 歳DMF指数※)		1.67本	1.60本	1.34本	◎	R4 小中学校 歯科検診調査 (学校教育課)
青年期							
毎日の活動に見 合った食事をし よう	自分の食事の適量をわかる 人を増やす	20~29歳	56.5%	57.6%	61.1%	◎	R4 石巻市民 食育アンケート 調査
		30~39歳	56.8%	57.9%	59.3%	◎	
	野菜や海藻を毎食食べる人 の割合を増やす	20~29歳	18.5%	18.9%	22.2%	◎	R4 石巻市民 食育アンケート 調査
		30~39歳	25.3%	25.8%	22.2%	↓	
	水・お茶以外の甘い飲み物 を毎日飲む人の割合を減ら す	20~29歳	39.1%	38.3%	28.9%	◎	R4 石巻市民 食育アンケート 調査
		30~39歳	34.2%	33.5%	29.9%	◎	

※DMF指数：永久歯1人平均むし歯数



行動指針	指標	第3期計画実績 平成29年		第3期 目標値	現状値 令和4年	達成 状況	出典データ 等
壮年期							
毎日の活動に見合った食事をしよう	自分の食事の適量をわかる人を増やす	40～49歳	57.7%	58.9%	65.9%	◎	R4石巻市民食育アンケート調査
		50～59歳	67.0%	68.3%	71.3%	◎	
		60～64歳	73.3%	74.8%	71.3%	↓	
	野菜や海藻を毎食食べる人の割合を増やす	40～49歳	24.0%	24.5%	28.3%	◎	R4石巻市民食育アンケート調査
		50～59歳	28.8%	29.4%	23.3%	↓	
		60～64歳	23.8%	24.3%	26.7%	◎	
	水・お茶以外の甘い飲み物を毎日飲む人の割合を減らす	40～49歳	28.1%	27.5%	29.6%	↓	R4石巻市民食育アンケート調査
		50～59歳	25.8%	25.3%	24.0%	◎	
		60～64歳	25.0%	24.5%	23.1%	◎	
	メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合を減らす(40～64歳) BMI ≥ 25の割合を減らす		30.1%	29.5%	35.2%	↓	R4特定健康診査結果(保険年金課)
			33.3%	32.3%	36.5%	↓	
	歯を大切にしよう	成人歯科健診の受診率を上げる		6.4%	11.5%	7.0%	→
高齢期							
毎日の活動に見合った食事をしよう	BMI ≥ 25の割合を減らす		32.4%	31.4%	34.4%	↓	R4特定健康診査結果(保険年金課)

②食文化の継承

行動指針	指標	第3期計画実績 平成29年		第3期 目標値	現状値 令和4年	達成 状況	出典データ 等
楽しく食事をしよう	家族や友人と週1回以上食事をする人の割合を増やす		91.0%	95.0%	90.5%	→	R4石巻市民食育アンケート調査
	朝食を子どもたちだけで食べる割合を減らす	小5	60.5%	59.3%	61.2%	↓	R4石巻市小中学生食育アンケート調査
		中2	70.9%	69.5%	71.0%	→	
食べ物や人に感謝しよう	学校給食の残食を減らす		75.6g	60.0g	75.0g	→	R4教育委員会学校管理課調べ
郷土料理や行事食に親しみ大切にしよう	郷土料理を食べている人の割合を増やす		38.6%	40.5%	—	—	※

※第4期計画策定のための市民食育アンケートの際に、前回調査と設問方法を変更したため、評価不能となっており、新たな設問の調査結果データを第4期計画の指標として設定しています。

③地産地消

行動指針	指標	第3期計画実績 平成29年	第3期 目標値	現状値 令和4年	達成 状況	出典データ 等
生産から消費までの過程を理解しよう	児童・生徒と産業従事者との体験学習を通じた交流を図る学校数を増やす	69.2%	73.1%	47.4%	↓	R4教育委員会調査(学校教育課)
地場産物を活用しよう	学校給食での地場産物の活用を増やす	28.8%	30.0%	49.4%	◎	R4教育委員会調査(学校管理課)
	産地表示をいつも見て購入している人の割合を増やす	農産物 41.2%	43.3%	—	—	※
親子で食育に取り組もう	食に関するPTA活動を増やす	23.1%	26.9%	3.5%	↓	R4教育委員会調査(学校教育課)

④食の安全・安心

行動指針	指標	第3期計画実績 平成29年	第3期 目標値	現状値 令和4年	達成 状況	出典データ 等	
食品、食材を選択する力を身につけよう	賞味期限、添加物の表示を見て購入する人を増やす	賞味期限	78.3%	82.2%	—	—	※
		添加物	16.4%	17.2%	—	—	
	食品中のカロリーや塩分などの栄養成分表示を参考にしている人の割合を増やす	40.9%	42.9%	—	—	※	

※第4期計画策定のための市民食育アンケートの際に、前回調査と設問方法を変更したため、評価不能となっており、新たな設問の調査結果データを第4期計画の指標として設定しています。



2 事業の取組成果と課題

(1) 食習慣と健康

目 標：生活リズムを整え、栄養のバランスを考えた食事をしよう

【乳児期・幼児期（0～5歳）】

行動指針：正しい食リズムを身につけよう、おやつを選び方を考えよう、野菜を食べよう

主な事業

- 乳幼児健康診査 ○離乳食教室 ○親子食育教室 ○個別相談
- 幼稚園・保育所での食育講話、料理教室、クッキング活動 ○給食参観
- 食育だより、健康だより、保育通信 ○給食・お弁当時間の指導 ○歯科教室
- 歯科健診・歯科指導 ○子育て支援センター食育講座 ○適正体重児を増やす取組

【栄養教室】



【歯科教室】



成 果

- ・乳幼児健康診査や離乳食教室、子育て支援センター事業など様々な場面で、乳幼児期からの食生活の大切さについて普及啓発を行いました。また、「保育所給食の人気レシピ」を作成し、乳幼児健康診査で配布しました。
- ・保育所（園）、認定こども園、幼稚園では給食やお弁当の時間などの日々の生活の中で、基本的な生活習慣を学んでいます。また、参観日やおたよりを通じて家庭と連携した食育を行っています。
- ・令和2年には集団指導ができなかったため、乳幼児の食生活と歯の話の動画を作成し、健康診査等で二次元バーコード付きのチラシを配布し普及しました。

課 題

- ・こどものころから望ましい食習慣を身につけるため、家庭や保育所（園）、認定こども園、幼稚園、地域等の関係者が連携、協働して取り組んでいくことが必要です。
- ・野菜が苦手な子や肥満傾向児については、保護者の生活背景に応じた個別支援や集団指導の機会をとらえて今後も継続して支援していくことが必要です。

【学童期・思春期（6～18歳）】

行動指針：成長に見合った食事をしよう、朝ごはんを食べよう、むし歯を減らそう

主な事業

- 小学校食育学習
- 親子食育教室
- 各種健康教室
- 出前講座
- 特定給食施設指導
- 教科・特別活動、給食の時間を利用しての食に関する指導
- 給食だより、学校だより
- 歯科健診・歯科指導

【バランス弁当教室】



【中学校での食育活動】



成果

- ・コロナ禍で食育体験学習の実施は減少傾向でしたが、感染予防に配慮しながら事業を行った学校もあります。また、給食だよりや保健だよりを活用し、朝食の大切さや生活習慣病予防についての啓発を行いました。

課題

- ・朝食の欠食は、国や県でも増加傾向です。成長期の健康な体づくりには、朝食を含めた1日3回の食事をバランス良く食べることが大切なことから、今後も継続して啓発します。
- ・むし歯や肥満傾向児の割合は全国に比べて多い状況です。むし歯については、減少傾向のため引き続き事業を実施していきます。肥満対策については、食生活の改善と身体活動量を増やす取組についても啓発が必要です。



【青年期・壮年期・高齢期（19歳以上）】

行動指針：毎日の活動に見合った食事をしよう、歯を大切にしよう

主な事業

- | | | |
|---------|-------------|-------------------|
| ○食改善講習会 | ○保健推進員育成研修会 | ○保健栄養学級（食育栄養セミナー） |
| ○出前講座 | ○成人歯科健診 | ○健康教育 |
| ○健康相談 | ○チラシ配布等 | |

【保健栄養学級（食育栄養セミナー）】



成果

- ・コロナ禍で大規模な食育イベントや飲食を伴う研修は自粛し、講話中心の研修会とチラシ配布による啓発、様々なイベント会場での展示コーナーでの啓発を行いました。令和4年度以降は徐々に事業を再開し、保健栄養学級（食育栄養セミナー）には募集人員を超える申し込みがあり、参加者の8割が食育推進サポーター（石巻市独自の食育ボランティア）に登録しました。

課題

- ・食生活改善推進員（全国組織の食育ボランティア団体）は高齢化による会員の減少が課題になっていますが、保健栄養学級（食育栄養セミナー）を開催し、食生活改善推進員と食育推進サポーターを養成しています。

(2) 食文化の継承

目 標：石巻の豊かな食を次世代へ伝えよう

行動指針：楽しく食事をしよう、食べ物や人に感謝しよう

郷土料理や行事食に親しみ大切にしよう

主な事業

- 食に関する学習指導 ○給食やお弁当時間の食育指導 ○親子食育教室・出前講座
- 健康だより、食育だより、園だよりでの啓発 ○郷土料理、行事食料理教室
- 保育所給食・学校給食での郷土料理や行事食の提供 ○食改普及講習会
- 環境保全リーダー育成講座 ○エコクッキング
- もったいない！食べ残し！30・10（さんまるいちまる）運動

【野菜の栽培と収穫体験】



【だしで味わう和食の日】



【もったいない！食べ残し！30・10運動】



成 果

- ・小中学校や幼稚園、保育所の給食では、季節の行事食や郷土料理を提供し、おたより等を通じて家庭へ啓発を行いました。小中学校の給食時間には校内放送を実施しています。また、毎日の給食やお弁当の時間に食材や作ってくれた人への感謝の気持ちを育てています。
- ・コロナ禍以前は市内の水産高校での鯨肉料理教室、中学校でのお魚料理教室を実施し、地元で水揚げされた魚を使い、さばき方の体験や魚料理を学ぶ機会を提供しました。
- ・令和4年に石巻地域に伝わる郷土料理「ほや雑煮」が100年フードに登録されました。
- ・「もったいない！食べ残し！30・10（さんまるいちまる）運動」やフードドライブ事業などを実施し、食品ロス軽減に取り組みました。

課 題

- ・核家族が増え、家庭での郷土料理や行事食の普及が難しくなっているため、引き続き、学校給食や保育所給食での食文化を継承しながら、食育関係団体と連携した食育事業での普及啓発を実施していくことが重要です。



(3) 地産地消

目 標：石巻の豊かな食を知り、みんなで味わおう
 行動指針：生産から消費までの過程を理解しよう、地場産物を活用しよう
 親子で食育に取り組もう

主な事業

- 産業従事者との体験学習
- J Aバンクアグリサポート事業
- 市民農園普及事業
- 中学生のお魚料理教室
- 親子お魚料理コンテスト
- 地産地消クッキング
- 親子食育教室
- 地場産物活用推進事業
- 鯨肉頒布事業
- 保育所給食・学校給食での地場産物活用
- テキスト副読本配布
- いしのまき じもとメシ！
- 小売店での農産物産直コーナー、対面鮮魚コーナー等の設置
- 6次産業化・地産地消推進助成金制度

【スリムねぎ栽培農家との交流】



【親子お魚料理コンテスト】



【石巻市6次産業化・地産地消推進助成金制度】
 (牡蠣と塩のクラフトコーラ)



成 果

- ・学校給食や保育所給食で積極的に地元食材活用に取り組み、給食だより等で家庭への普及啓発を行いました。また、鯨肉頒布事業、6次産業化・地産地消推進助成金制度についても、継続的に実施しました。さらに、「地産地消推進店グルメガイドブック」を作成し、食イベント「いしのまき じもとメシ！」(地産地消推進店コラボ事業)を開催しました。

課 題

- ・コロナ禍のため、産業従事者との体験学習や調理を伴う「お魚料理教室」が実施できませんでした。また、魚については水揚げされる魚種が変わってきている中での啓発普及が課題となっています。今後は、感染対策を万全に行いコロナ禍以前の事業を再開し、農林水産物全般において、石巻の豊かな食材を活用した食育を進めていきます。

(4) 食の安全・安心

- 目 標：石巻の安全・安心な食生活を実現しよう
行動指針：食品・食材を選択する力を身につけよう
安全な食材・食品を提供しよう
食材の安全性について情報を提供しよう

主な事業

- 保健栄養学級（食育栄養セミナー）
- 食品表示についての指導（保健所）
- トレーサビリティ対応（生産者・小売店）
- 食生活改善推進員育成研修会
- エコファーマーの啓発普及

【石巻かき祭り】



【出前講座】



成 果

- ・食生活改善推進員育成研修会や保健栄養学級（食育栄養セミナー）等の場面で、食品表示の見方の研修等を行いました。
- ・生産者や小売店で商品（食品）のトレーサビリティ対応を実施し、安全安心な食品を食卓へ届けることができました。

課 題

- ・生産者や小売店は食の安全・安心に合わせ、環境に配慮した食品の提供も進めていく必要があります。
- ・市民への啓発活動では研修会等で食品表示の他、栄養成分表示や機能性表示食品、特定保健用食品、非常時の備蓄の必要性についても学ぶ機会が必要です。
- ・保健所の食品表示の指導、生産者や小売店でのトレーサビリティ対応については継続して実施します。
- ・エコファーマー認定制度が令和4年度に廃止になりましたが、制度が終了しても、生産者が安全安心な農産物を消費者に提供することは継続して実施することが大切です。



(5) みんなで取り組む食育（関係部署や関係団体と連携して進める食育事業）

主な事業

- 市報食育推進コーナー（毎月）
- 市民食育健康フェスティバル
- 小売店や地場産物直売所での食育啓発事業
- ホームページでの啓発
- おいしく食べてげんきっこ
- 食育情報交換会

【食育推進キャラクターを使用した啓発活動】



【市民食育健康フェスティバル】



成果

- ・「石巻市食育推進キャラクター☆いしのまっき隊」を活用した普及啓発事業として、啓発媒体の掲示と食育レシピの設置を小売店や地元野菜直売所で実施しました。初年度は1店舗からはじめ、毎年協力店舗を増やし令和5年度には13店舗で掲示しています。
- ・全国食育推進月間（6月）、みやぎ食育推進月間（11月）には食生活改善推進員連絡協議会と連携し、街頭啓発事業（食育啓発ポケットティッシュ等の配布）を実施しました。
- ・コロナ禍には、飲食を伴う事業や大規模イベントを自粛しましたが、ホームページのリニューアルや動画作成を行い、チラシや広報誌に二次元バーコードを付け啓発活動を行いました。
- ・「市民食育健康フェスティバル」は、令和2年度から令和3年度では新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防のため中止しましたが、令和4年度に規模を縮小して開催しました。

課題

- ・第3期計画の重点目標である「若い世代を中心とした食育の推進（特に食習慣と健康）」を掲げ、庁内食育関係課、学校、幼稚園、保育所と様々な食育事業を行ってきましたが、新型コロナウイルス感染症拡大により、集団での体験学習や交流事業、飲食を伴う食育イベントが概ね中止となりました。その影響の因果関係は不明ですが、若い世代の朝食の欠食は増加、こどもの肥満や大人のメタボリックシンドロームも増加という現状です。令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類感染症となり様々な事業を再開していますが、本市は全国に比べ肥満が多いことから、市民一人ひとりに食を通じた健康づくりが広まるよう、連携した食育事業の実施が重要です。

【街頭啓発事業
（食育啓発ポケットティッシュ等の配布）】



【おいしく食べてげんきっこ】

